

市同教 理事現地研修に行ってきました

11月1日 金 渋染一揆資料館(岡山市)

市同教理事の研修として毎年、実施しています。今年度の研修先は、岡山市の「人権啓発センター」と「渋染一揆資料館」。6名が参加しました。

50分間ほど「人権啓発センター」で講話を聞いたあと「渋染一揆資料館」へ徒歩で移動。その隣にある部落解放の殉教者をまつた若宮神や渋染一揆記念碑にお参りし、館内の展示物などについて説明を聴きました。

渋染一揆は江戸時代末期の1856年、備前の国で起きました。岡山藩から出された被差別住民への「別段御触書」。その取り下げを求めた「嘆願書」が受理されなかったため、命がけで「強訴」に踏み切った人たちの闘い。この一連の様子を残されている史料を見ながら話を聴きました。「生活の困窮」ではなく「不平等」を理由とした闘いという意味で画期的なものでした。話し合いを重ね、知恵を出し合い、武器を持たずに闘ったことが成功の一因となりました。

事前にビデオを見るなど、予習していた内容をさらに深く学ぶことができました。



第75回 全国人権・同和教育研究大会に参加しました

11月30日 土 / 12月1日 日 熊本市

今回は熊本県をメイン会場として鹿児島県、福岡県の3県で開催され、市同教からは10名が参加しました。大会の地元テーマは、『事実と実践・創造』～であうつながる「ひと なかま まち」～です。私たちは、熊本市の会場で全体会や分散会を聴講しました。

1日目午前の全体会は、開会行事、基調提案、地元特別報告がありました。基調提案は、「近年、日本社会においては、社会的・文化的格差が生じており、『競争』、『成果』、『自己責任』という言葉が、自己実現や人のつながりなど、これまでの教育が大切にしてきたことに影響を与えている。こうした社会状況に対して『部落差別解消推進法』や『こども基本法』等が制定されてきた。しかし、現在、いじめや不登校、虐待の件数は増加している。生きづらさを抱えた子どもたちの声を受け止め、子どもの権利に根差した人権文化あふれる地域・学校・園・所の創造をめざそう。」といった内容でした。

1日目午後と2日目午前は、各自が希望する分散会に参加しました。2日間を通した参加者の報告書より感想の一部をご覧ください。



今回初めて参加させていただきました。全体を通して感じたことは、目の前にある人権課題にしっかりと向き合い、差別をなくそうという思いで行動されている報告者や参加者がとても多く、熱意にあふれているということでした。

そのような場に参加させていただき、差別の現実を改めて深く知り、学ぶことができる機会となりました。自分の意識を見直し、身近なところから取り組み、また、これからもこのような機会に参加し、人権問題を学び続けたいと思います。

そして、こういった学びの場への参加者の広がりやをどのようにしてさらに実現していくのかということが課題のひとつではないかと感じました。

「差別は受ける方が悪いのではない！差別する方が悪いのである！」この言葉に深く考えさせられました。参加できてよかったです。よりよい活動を実施できるための更なる審議を期待しています。

兵庫県以外の取組をたくさん聞けてよかったです。まずは、自分の身の回りの人権から考え、この研究大会での学びを生かしていきたいと思います。

今回初めて参加させていただきました。高等学校で指導されている先生方の話を聞き、自分自身の取組や勤務校での取組を振り返ることができました。討論の場面では、多くの方が人権に対する熱い想いを語っておられました。

会場は熱気に包まれていました。分散会では、教師自身が実践を通して、自己に内在する差別心や自己否定と真摯に向き合う過程が細やかに報告されていたことが印象的でした。人権課題を自分事として捉え、仲間とともに向き合う大切さを再認識する機会となりました。

今回で6回目の参加となります。30代で初めて参加して、参加するたびに、発言されている方々の差別解消に向けての熱さを感じました。『差別の現実から深く学ぶ』と掲げられているけれど、本当に先生方は現実を知っておられるのか「本当に先生方は私たちの苦しみを理解し、解消しようとしているのか」「1950年代と同じ『今日も机にあの子がいらない』(不登校の増加)という状況があることをどう認識しているのか」と手厳しい意見を拝聴する機会でした。

私にとって、この大会への参加は、自分に向き合い、自分を振り返り、新たな力を頂く機会でもありました。今後とも機会あるごとに思い出し、自分の人権感覚を振り返っていきたいと思います。



丹(まごころ)の里 人権のつどいを開催しました

12月8日 日 春日文化ホール

この会は丹波市、法務局柏原支局、市同教などの主催により、毎年12月の人権週間の時期に行っています。開会行事の後、ステージでは「全国中学生人権作文コンテスト」兵庫県大会丹波地域(丹波市・丹波篠山市)予選で2,090作品の中から最優秀賞に輝いた3人の作品の表彰と朗読、「人権活動事例発表」、歌手の大島花子さんによる「つながる命 大切な命」をテーマとした「トーク&コンサート」がありました。会場には約280人が集い、ステージ発表や展示発表などを通して人権について考えるよい機会となりました。

市同教が担当した「人権活動事例発表」では、三菱電機社会インフラ機器株式会社の四方威夫さんに、～子育てサポート企業「くるみ認定」の取得とその後の取組み～のテーマで、全従業員が生き生きとやりがいをもって働ける環境づくりとして、残業時間の削減、有給休暇の取得促進、育児休暇の取得率向上などの取組と実績を発表していただきました。このような取組が市内の事業所に広がることを期待します。



長年の知識と確かな技術と
自由な発想—
新しい業務スタイルを提案します。

防犯カメラ
防犯設計から
施工まで
徹底サポート！
安心と安全の
ために

**オフィス全体の
セキュリティ対策**
○情報漏えい ○不正アクセス
○なりすまし ○迷惑メールブロック等
○データ改ざん等ブロック
UTM(総合脅威管理プラットフォーム)
Unified Threat Management

株式会社 ユニットシステム
UnitSystem Corporation
https://www.unitssystem.jp
E-mail: info@unitssystem.jp

日本の旅/世界の旅 予約受付中
あなたの旅を応援します！

団体旅行・グループ旅行・個人旅行などお気軽にご相談下さい
■JTB・近畿日本ツーリスト・日本旅行などの海外パック旅行/国内パック旅行の手配
■宿泊のみの手配や食事・観光施設の手配も行います
■貸切バス・航空券・JR券・フェリー券など各種船車券の手配も行います
■格安海外航空券・海外のホテルの手配・バスチケットの代理申請
など幅広いご要望にお応えいたします

○お申込み・お問い合わせ
丹波市柏原町柏原(JR柏原駅南口)
■柏原駅南口から徒歩10分または新市街バス停から徒歩10分(1時間無料です)をご利用ください

関西旅行社
TEL (0795) 72-0325 FAX (0795) 72-2416
E-mail: info@kansairyoko.co.jp

JTB LOOK JTB kncl 日本旅行

地域に笑顔を(^ ^)/
株式会社橋本電設 スポーツ事業部

ピュアスポーツ柏原

あなたの夢を叶えます。
柏原町大新屋449
PSK 73-0102

編集後記

全国同教研究大会(熊本市)で聴講した特別分科会の中で、印象に残った内容をお伝えします。

「差別問題が『差別される』という受け身の表現で語られるが、差別『される』という状態が始めにあるはずがない。必ず、差別『する』という行為が先にあるはずだ。よって、差別は『する』人たちの問題であって、決して『される』人たちの問題ではない。いじめも同じ。『いじめられている』人たちの問題ではない。」

このような視点が広がってほしいと願っています。

丹波市人権・同和教育協議会(tambashi-doukyou.jp)

